

重点目標一覧表

担当部局名	真田地域自治センター
-------	------------

【平成29年度重点目標】

【平成30年度重点目標】

重点目標	真田に暮らす誇りと生きがいを感じる住民自治体制の確立	重点目標	魅力あるスポーツリゾート「菅平高原」の環境整備
	具体的な重点取組項目（箇条書き）		具体的な重点取組項目（箇条書き）
1	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) 新たな住民自治体制の確立に向けた啓発活動 ①地域内の合意形成に向けた懇談会等の開催 ②「準備会だより」等による情報提供 (2) 住民自治組織の設立 (3) 住民自治組織の活動の方向づけ ①活動体制の整備支援 ②地域まちづくり計画の策定支援 ③事業内容等の検討・協議支援</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) ①真田地域の22団体との懇談会の開催 ②「準備会だより」及び「自治センターだより」において設立に係る周知と理解の促進 (2) 7月1日に「真田の郷まちづくり推進会議」設立 (3) ①理事会8回・評議員会4回開催、組織のあり方や活動の体制整備への支援 ②カンファレンス開催（2回）及び計画策定を推進する体制づくりの支援 ③地域づくり委員会及びカンファレンスでの意見・提言等を踏まえた次年度事業計画やまちづくり計画等への反映に向けた支援</p>	<p>期限・数値目標等</p> <p>(1) ①9月1日 ②供用開始までに施設運用方法の調整 ③随時、地元関係団体との協議及び情報発信 (2) ①11月末までにフィールドコンディションの向上及び管理センター更衣室・通路の床整備 ②11月末までに公認更新のための改修及びトイレ・更衣室の新設 (3) ①12月末までに遊歩道としての木道（100m）の改修 (4) ①年度末まで地方創生推進交付金を活用した財政支援の支援</p>
2	<p>重点目標</p> <p>菅平高原スポーツリゾート地の整備促進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 菅平地区振興施設整備の推進 ①整備スケジュールに沿って着実な進捗を図る ②管理運営に係る庁内及び関係機関との調整 (2) 植生環境保全に向けた実証実験等の実施及びまとめと検証 (3) ラグビーワールドカップやオリンピックのキャンプ地誘致に向けた環境整備（サニアパークの環境整備） (4) スポーツツーリズム推進事業による誘客活動への支援</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) ①整備スケジュールに沿った管理体制の実施 ②庁内関係課や地元建設委員会との協議を重ね設置条例を制定 (2) モニタリング調査結果をまとめ、山野草復元への効果があることを環境省に報告 (3) キャンプ地で使用予定のサニアパークの環境整備の実施 (4) 菅平SPT協議会が行った事業に対し、国の地方創生推進交付金を活用した財政支援</p>	<p>重点目標</p> <p>真田に暮らす誇りと生きがいを感じる 参加と協働のまちづくり</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 住民自治組織の「まちづくり計画」策定への支援 ① 策定方法の決定支援 ② 住民意見の把握のためのワークショップ等の開催支援 ③ 計画案の内容調整支援 (2) 地域づくり委員会と住民自治組織が連携したまちづくりへの取組 ①住民自治組織の活動への理解に向けた周知 ②連携方法の方向づけ ③地域課題の解決に向けた情報共有 (3) 「協働のまちづくり」の気運の醸成に向けた取組 ① 協働推進員、地域担当職員及び地域づくり委員会の地域担当者との連携 ② 地域住民等への行政及び住民自治組織のまちづくりや地域情報の提供</p>
3	<p>重点目標</p> <p>真田ブランドを生かす観光事業の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 真田の郷周遊観光バスの運行 (2) 真田氏歴史館での企画展の開催 「山家神社に伝わる真田氏ゆかりの品の企画展を開催」 (3) 真田まつりの開催 「真田の郷」の郷土愛と人とのつながりを醸成・発信するまつりを開催 (4) 真田氏関連の歴史講座の開催</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) 4月～11月、45日間に360便 （平均乗客数2.8人/便）運行利用者延べ1,002人 (2) 7月15日～10月2日の開催、観覧者11,099人 (3) 「真田丸」出演者による「雁金をどり」の披露やラグビー体験会などにより郷土愛の醸成につながるまつりを開催、来場者約8,500人 (4) 平山優先生による公民館講座「武田氏と真田氏」を開催、参加者約250人</p>	<p>重点目標</p> <p>地域を守る自主防災活動の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 自主防災組織の育成 ①自主防災組織リーダーの役割及びハザードマップ等についての研修会・先進地視察の実施 (2) 防災訓練の実施 ①重点地区（菅平地区）及び自治会単位の防災訓練の実施 (3) 災害時要援護者登録制度の充実 ①自治会関係者へ制度や活用などの周知 ②更新作業の実施</p>
4	<p>重点目標</p> <p>地域を守る自主防災活動の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 自主防災組織の育成 ①自主防災組織リーダー研修会の実施 ②総合ハザードマップの活用促進 (2) 防災訓練の実施 ①重点地区における防災訓練の実施 ②重点地区以外での、自治会単位による防災訓練の実施 ③有線放送による伝達情報の即時性を活用した防災訓練の実施 (3) 災害時要援護者登録制度を活用した支援の充実 ①自治会長、民生委員等への制度の周知及び防災訓練等への活用の働きかけ ②自治会支援班における連携の働きかけ ③更新作業の実施</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) ①5月19日に研修会を開催し、32自治会が参加 ②自主防災リーダー研修会において総合ハザードマップを活用した研修を実施 (2) ①9月2日に本原地区を重点地区として、本原小学校を会場に実施、13自治会295人が参加 ②長地区で5自治会、傍陽地区で2自治会が実施 ③非常伝達訓練及び参加啓発に有線放送を活用 (3) ①②自治会長へ6回、民生・児童委員へ4回、福祉推進委員等へ3回働きかけの実施 ③全自治会を対象に見直しを行い、18自治会のマップ・リストの更新を実施、独自自治会1地区が市の制度へ移行</p>	<p>重点目標</p> <p>地域公共交通の存続に向けた利用の推進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 公共交通の利用促進に向けた広報活動 ①地域住民へのPR活動 ②地域内各事業所への訪問によるPR活動 (2) バス利用促進のための各種イベントの開催 ①七夕バス、真田まつりでのバス乗車体験、定期券・回数券特別斡旋企画・クリスマスイベント、ギャラリーバス（絵画・写真等の車内展示） (3) 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ①役員会及び総会の開催 ②利用促進に向けた調査・研究</p>
5	<p>重点目標</p> <p>公共交通の利用促進</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 公共交通の利用促進に向けたPR活動 ①地域住民や地域内事業所訪問による広報活動 (2) バス利用促進のための各種イベントの開催 ①真田地域公共交通利用促進協議会の主催による、関係機関と連携した各種イベントの開催 (3) 真田地域公共交通利用促進協議会の運営 ①役員会及び総会の開催 ②利用促進に向けた調査、研究</p>	<p>達成状況・達成度</p> <p>(1) ①「自治センターだより」に利用促進の呼びかけの記事を4回掲載し、真田地域内の16事業所を訪問または郵送により、利用促進の啓発を実施 ②①計画したイベントは全て実施。七夕バスで園児の描いた絵画を展示、バス乗車体験、回数券/定期券の特別販売企画を2回、夏休み期間中のスタンプラリー、イルミネーションバス景品配布、ギャラリーバスの運行 (3) ①利用促進に向け、役員会を6月9日、29年度総会を6月26日に実施 ②利用促進チラシとバス時刻表を作成し全戸配布</p>	<p>重点目標</p> <p>真田地域福祉関係施設の今後のあり方検討と方向付け</p> <p>具体的な重点取組項目（箇条書き）</p> <p>(1) 上田市真田地域活動支援センターのあり方の見直し ①内部協議の実施 ②外部の意見聴取の実施 ③センターのあり方についての方向付け (2) 上田市真田総合福祉センター等のあり方の検討 ①内部協議の実施</p>